会社概要

（2022年9月30日現在）

会社の概要

社名	株式会社　ヤ　ギ
英文社名	YAGI & CO.,LTD.
創業	1893年（明治26年）10月16日
設立	1918年（大正7年）4月28日
資本金	1,088,000,000円
主な事業内容	綿化繊糸、合繊糸、綿化繊織物、合繊織物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
主要な事業所	（国内）大阪本社　大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
	東京本社　東京都中央区日本橋小網町18番15号
	支店　福井（福井市）
	出張所　名古屋（名古屋市）
	営業所　和歌山（和歌山市）
	（海外）駐在員事務所　上海（中国）
	ホーチミン（ベトナム）
	ハノイ（ベトナム）
	ダッカ（バングラデシュ）

役員一覧（2022年9月30日現在）

代表取締役	社長執行役員	八木　隆夫
取締役	常務執行役員	山岡　一朗
取締役	上席執行役員	濱田　哲也
取締役	上席執行役員	八木　靖之
取締役（常勤監査等委員）		三浦　明石
取締役（監査等委員）		池田　佳史
取締役（監査等委員）		塩田　修
取締役（監査等委員）		熊谷　弘

（注）取締役池田佳史、塩田修及び熊谷弘は、社外取締役であります。

株式の情報

（2022年9月30日現在）

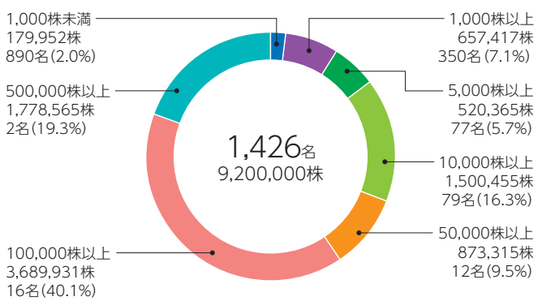
発行可能株式総数	45,568,000株
発行済株式の総数	9,200,000株
株主数	1,426名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	933（千株）	11.18（%）
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュニティズ ファンド	433	5.19
株式会社みずほ銀行	410	4.91
株式会社三井住友銀行	380	4.55
立花証券株式会社	348	4.17
株式会社三菱UFJ銀行	305	3.65
ヤギ従業員持株会	270	3.24
第一生命保険株式会社	250	2.99
クロスプラス株式会社	237	2.84
八木 隆夫	210	2.51

（注）持株比率は自己株式（844,865株）を控除して計算しております。

所有株数別分布状況



（注）本報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会の基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当　3月31日 中間配当を行うときは9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168−0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
（電話照会先）	電話　0120−782−031（フリーダイヤル）
	取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ウェブサイト https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

YAGI MAKE A DREAM, 1+∞
株式会社 ヤギ
〒540-8660　大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号
https://www.yaginet.co.jp
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
UD FONT

YAGI REPORT

第111期

中間報告書

2022年4月1日→2022年9月30日

人と社会を結び続ける、ヤギへ。

私たちは、これからの社会を
どう捉えていくべきか——。

価値観が大きくシフトした今、
「繊維」と共に歩んできた私たちもまた、
イノベーションが求められています。

持続可能な世の中のために、
私たちができることを一歩一歩。

ともに創造し、讃えあい、
次の世界を形づくる
実りある社会の実現を目指します。

YAGI MAKE A DREAM, 1+∞

証券コード：7460

株主の皆様へ

代表取締役
社長執行役員　八木隆夫

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、人流回復に伴う個人消費の持ち直しもあり、景気の好転が期待されました。しかしながら、7月以降の新たな変異株による感染症再拡大への懸念だけでなく、世界的なエネルギー価格の上昇、原材料価格の高騰、為替市場における急速な円安の進行で、経済的不安要素が顕在化しており、常に景気の下振れリスクを孕んだ状況にあります。

当社グループはこのような厳しい環境のもと、3ヵ年の中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」の最終年度を迎えており、4つの重点方針である「経営体制の高度化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「次世代事業の創出」、「サスティナビリティの着実な実行」の総仕上げに向け、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み強化、ブランドビジネスの強化に尽力しております。

中でもサスティビリティにおいては、YAGIthical（ヤギシカル）と名付けたエシカル活動を根気強く継続しており、また市場で益々関心が高まっている環境配慮型商材の積極的な開発、ブランディング、販売活動をグループ全体で展開しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、増収減益となりました。

今後におきましても、厳しい市場動向や事業環境が続く中においても、これからの社会環境変化を見据えて、成長分野への経営資源投入とさらなる経営体制の高度化を行うとともに、当社が1893年（明治26年）の創業以来築き上げてきた信用と実績をさらに高めていくために、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年11月

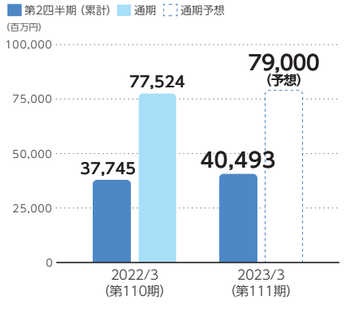
配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつとして認識しており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していくことを基本的な考えとしております。

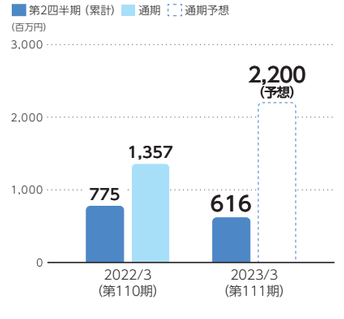
当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき48円を予定しております。

第2四半期財務ハイライト（連結）

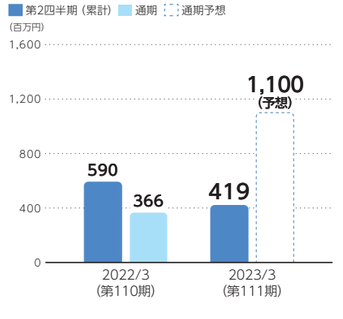
売上高



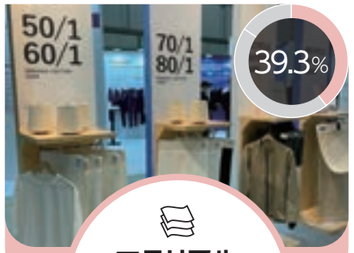
経常利益



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



セグメント別の概況

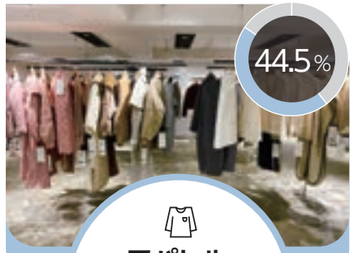


マテリアル事業

天然繊維・合成繊維ともに、リサイクル糸などの環境配慮型素材の引合いは増加傾向にあるものの、原材料価格の高騰による販売価格への転嫁が難しい状況が続いております。

しかしそのような中でも、高次加工糸等の差別化原料や車輌向け合成繊維原料販売に関しては比較的安定した動きを見せました。

この結果、売上高は16,544百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント利益（経常利益）は364百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

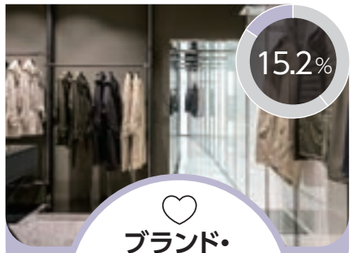


アパレル事業

コロナ禍による影響を受けながらも、人流の回復もありスポーツ商材やアウトドア商材等で復調傾向が見られ、また通販向け商材、量販向け商材でも一定の売上を確保しましたが昨年規模までの回復には至りませんでした。

また販売先から要望される価格が厳しい中で、原材料及び燃料価格が高騰しており、加えて急速な円安の進行で輸入コストが上昇し、利益確保に苦慮する大変厳しい状況となりました。

この結果、売上高は18,745百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益（経常利益）は1,037百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

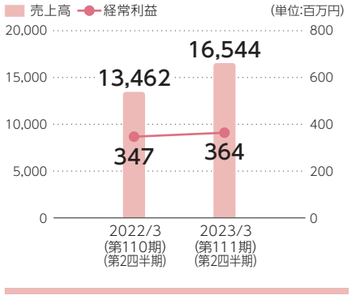


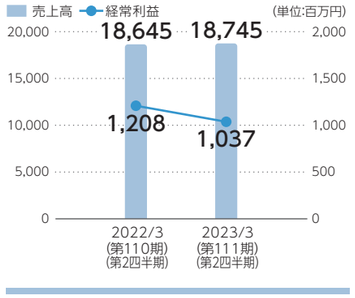
ブランド・ライフスタイル事業

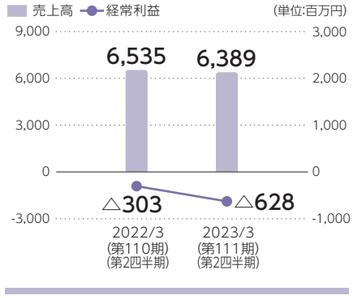
生活雑貨や資材を取り扱うライフスタイル事業においては、原材料や加工で差別化を図った高機能資材などの販売が堅調に推移しました。

一方、ブランド事業においては、通期収益の中心となる秋冬商品の卸販売において、実需に基づいたデリバリーに変更したため下期での計上となり、生産等に係る諸経費が先行するなど、前年同期比で売上・利益ともに減少することになりました。

この結果、売上高は6,389百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント損失（経常損失）は628百万円（前年同期は303百万円のセグメント損失）となりました。







（※売上高構成比はこの他に、不動産事業1.0%があります。）

TOPICS

「VISION」実現に向けて取り組みを進行中!

WEBサイト https://www.yaginet.co.jp/company/vison.html

当社のあるべき姿や未来に向けてのイメージを社会に向けて共有していくため、本年1月に新しく「VISION」を策定いたしました。VISIONの実現に向け、まずは社内での浸透を促すための取り組みを進めており、VISIONに基づき様々な角度で組織貢献した課・個人を表彰するための表彰制度の見直しや、社内報を活用したVISIONに関する企画の実施などを行っています。VISIONの中にもある、「健康でイキイキと働く環境を構築する」の実現に向けて、社内の健康経営推進体制も発足いたしました。当社グループの社員全員が自分の言葉でVISIONを語れるように、今後、様々な形で浸透させていきます。そして、このVISIONを基に、社会と共通の課題解決を目指した取り組みを進めてまいります。

米国swatchbook社と資本業務提携を締結

当社は本年9月、世界最大級の3Dデジタルマテリアルプラットフォームを運営する米国のswatchbook Inc.へ出資し、資本業務提携を締結しました。swatchbook社のパートナーとして、繊維・ファッション業界の課題解決に寄与するとともに、多様なニーズ・社会課題に対応したサービス提供を共同で推進してまいります。今後の展開といたしましては、当社のテキスタイルECサイト「Fably」をswatchbook社のプラットフォームにデータ連携させ、国内から海外へのテキスタイル販売の拡充を進めていく予定です。また、Fablyのプラットフォームを国内素材メーカーに活用していただくことで、繊維業界のグローバル化の推進に取り組みます。新設の日本法人swatchbook合同会社と協働してswatchbook社のシステムの普及を図り、繊維・ファッション業界のDXを支援していきます。

WEBサイト https://www.swatchbook.us/

フェムテック展開催、女性特有の課題解決に取り組む商品を提案

本年5月に、フェムテックにフォーカスした展示会を開催いたしました。当社が展開するフェムテック製品を「re:i not plus minus（レイ）」と称して、吸水サニタリーショーツをはじめ、マタニティ期や更年期に寄り添ったインナーウェアなどを展開。当社の女性社員が開発した、女性のライフステージで起こる課題に対応する製品を業界関係者向けに紹介させていただきました。今後も当社VISIONに基づき、「人々の豊かで快適な生活」の貢献に向けて、女性の健康や活躍をサポートすべく、女性特有の課題解決に繋がるような製品開発を進めていきます。

WEBサイト https://reinotplusminus.com/

PBP YARN PROJECTを通じた支援が前進

当社は、一般財団法人PEACE BY PEACE COTTONに理事として参画し、インド支援地域のオーガニック綿花を寄付金を積み立てて仕入れ、紡績したオリジナル糸を展開する当社独自の「PBP YARN PROJECT」に取り組んでいます。2021年度に積み立てた寄付金は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による収入減少で綿花種子を購入する余裕のない農家世帯2,000軒を対象とした、非遺伝子組み換え綿花種子の配布に充てられました。また、有機農業を継続するための支援として種子の処理方法の説明会も行われました。この支援のおかげで、綿農家の方々は今年度も綿花の有機農業を継続し、有機農家資格を保持することができ、チェトナオーガニック（現地支援団体）を通じた市場での綿花買い取り価格は、過去最高となりました。

WEBサイト https://www.yagithicalpbp.jp/

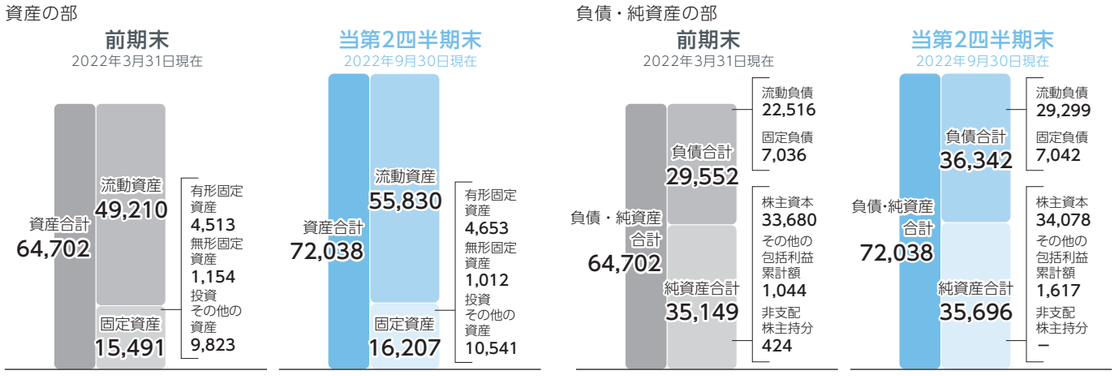
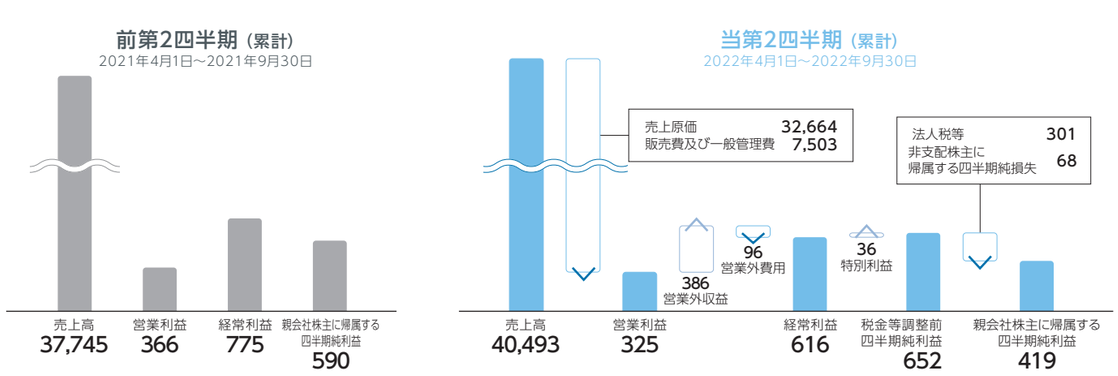
大阪本社、自衛隊による大規模ワクチン接種会場へ協力

自衛隊による第3回目新型コロナワクチン接種を目的とした大阪大規模接種会場として、本年2月7日から7月末まで当社グループ会社が所有する八木ビルの一部を提供させていただきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、第一線でご尽力されている医療現場、行政をはじめとする関係者の皆さまへの深い敬意と感謝を表すとともに、本件を通じて感染拡大防止に少しでも貢献したいという思いから、協力をさせていただきました。

連結財務データ

詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください https://www.yaginet.co.jp/ir/ ヤギIR 検索

四半期連結貸借対照表（単位:百万円）



四半期連結損益計算書（単位:百万円）